

平成26年度開設予定学部等一覧

1 学部を設置するもの 13校

平成25年10月

区分	大学名	学部名 学科等名	入学 定員	位置	設置者	留意事項	備考
私立	青森中央学院大学	看護学部 看護学科	80	青森県青森市	学校法人 青森田中学園	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各看護学実習において臨地実習指導者の資格要件を設けており、老年看護学実習の臨地実習指導者については准看護師も想定しているが、4年制大学における看護師養成の意図を踏まえ、資格要件を改めること。</li> <li>・教員の補充を必要とされた2授業科目については、科目開設時までには教員を充足すること。</li> <li>・完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について着実に実行すること。</li> </ul>	青森中央短期大学 看護学科(廃止) ※平成26年4月学生募集停止
"	足利工業大学	看護学部 看護学科 (3年次編入学定員)	80 3	栃木県足利市	学校法人 足利工業大学	<ul style="list-style-type: none"> <li>・看護系学部で養護教諭を養成することについての意義や特徴について、本学部学科における考えを整理し、学生が十分に理解できるようにすること。さらに、看護師・保健師・養護教諭の3つの資格取得に必要な単位数が160単位であることについて、教育の質保証の観点から、膨大な学習量が必要であることを学生に対して十分説明し、安易な履修とならないように留意すること。</li> <li>・教員の補充を必要とされた22授業科目については、科目開設時までには教員を充足すること。うち、専任教員の配置を必要とされた22授業科目については、確実に専任教員を配置すること。</li> <li>・監査に対する認識や取組が十分でなかったことから、監事監査をはじめとする監査業務の充実に取り組むこと。</li> <li>・完成年度における法人全体の帰属収支差額がマイナスとなっていることから、収支の均衡を前提とした中長期的な財政計画の策定・実行など、経営基盤の安定確保に取り組むこと。</li> <li>・既設校の今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。(足利工業大学 工学部創生工学科)</li> </ul>	足利短期大学 看護学科(廃止) ※平成26年4月学生募集停止
"	聖徳大学	看護学部 看護学科	80	千葉県松戸市	学校法人 東京聖徳学園	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「生活支援看護実習(在宅)」においては、当初18名の専任教員で実施する計画から、教員審査の結果を踏まえ11名で担当し、その代わりに助手を採用する計画となっているが、専任教員が実質的に実習指導できる計画とは言い難いため、補充が求められている教員を適切に配置するなどの教員組織を整備するか、専任教員1名当たりの担当実習施設数または担当実習場所もしくは実習ローテーションの回数を増やすなどの実習計画について再検討し、実習の質が担保される体制を整備し、着実に実行すること。</li> <li>・既設校の今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。(聖徳大学 音楽学部演奏学科、児童学部(通信教育)児童学科、心理・福祉学部(通信教育)心理学科、社会福祉学科、文学部(通信教育)文学科、聖徳大学短期大学部 保育科第二部、総合文化学科、保育科(通信教育))</li> <li>・学生等の募集を停止中の聖徳大学附属取手聖徳女子高等学校体育科並びに聖徳大学幼児教育専門学校服飾科第一部、服飾科第二部については、再開するか否かなどについての検討を行い、速やかに適切な措置を講じること。</li> </ul>	

区分	大学名	学部名	学科等名	入学生員	位置	設置者	留意事項	備考
私立	東京家政大学	看護学部 看護学科 子ども学部 子ども支援学科		100 100	埼玉県狭山市	学校法人 渡辺学園	<p>・看護師課程の4年次の履修について、選択科目で災害看護や英語等の基礎教養科目が配置されているが、学士課程の看護教育に相応しい体系的な学修ができる内容となるよう科目配置の順序を考え、統合的な科目を配置するなどさらに充実させること。また、助産師課程の統合実習が後期に配置されていることについて、助産学実習と重なり実施が難しいと思われるため、配当時期を改めること。（看護学部）</p> <p>・「産業保健」「学校保健」が4年後期に配当され、中学校・高等学校での公衆衛生看護学実習が10月に配当されていることは、学修の順序を考えると座学が実習の前に行われる方が望ましいので、「産業保健」「学校保健」の集中講義を公衆衛生学実習より前に実施すること。（看護学部）</p> <p>・教員組織の編成について、各看護実習の指導が可能と説明があるが、助産学実習と母性看護学の実習の配当時期が重なっており、助産師課程の講義科目が全て4年次に配当されていることから、担当教員の負担が懸念される。したがって、担当教員を追加するなど教員組織を充実させるか、実習時期を見直すことにより、実習の質が担保される体制を整備するとともに着実にその計画を実施すること。（看護学部）</p> <p>・教員の補充を必要とされた5授業科目については、科目開設時までには教員を充足すること。うち、専任教員の配置を必要とされた5授業科目については、確実に専任教員を配置すること。（看護学部）</p> <p>・学科名称を「子ども臨床教育学科」から「子ども支援学科」に変更したことに伴い「子ども芸術臨床演習」の授業科目を削除しているが、学科の設置の趣旨を踏まえると、「子ども芸術臨床演習」で予定していた、例えば身体運動、音楽療法、美術等の芸術に関連する内容を学生に教授することが望ましいことから、必要に応じて、授業科目名称を再考した上で当該授業科目の開設を検討すること。また、同様に、アレルギー疾患、生活リズムの崩れに関する教育内容についてさらに充実したほうが望ましいことから、これらを教授する授業科目を新たに開設するか、既設の授業科目の内容をさらに充実させること。（子ども学部）</p> <p>・教員の補充を必要とされた1授業科目については、科目開設時までには教員を充足すること。うち、専任教員の配置を必要とされた1授業科目については、確実に専任教員を配置すること。（子ども学部）</p> <p>・完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。（子ども学部）</p> <p>・評議員の選任方法に誤りがあることから、寄附行為の規程に基づき適切に行うこと。</p>	
〃	日本体育大学	保健医療学部 整復医療学科 救急医療学科		90 80	神奈川県横浜市	学校法人 日本体育大学	<p>・完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について着実に実行すること。（整復医療学科）</p> <p>・特に北海道や岐阜での遠隔地における実習については、施設担当教員ではなく、実習曜日担当教員を配置していることなどから、専任教員が責任を持って実習指導する計画とは考えられないため、専任教員の中での主担当及び副担当の役割分担、当直実習時の安全管理、専任教員と実習先病院の実習担当者との連携体制について再検討し、綿密な実習計画を策定するとともに着実にその計画を実施すること。（救急医療学科）</p>	

区分	大学名	学部名	学科等名	入学定員	位置	設置者	留意事項	備考
	(日本体育大学)			人		(学校法人 日本体育大学)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医の倫理に関連する科目として、医学概論と救急医学概論が1年次に配当されているが、医の倫理は継続して学習する必要があるため、上級学年においても医の倫理について継続的な教育を行うこと。(救急医療学科)</li> <li>・完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について着実に実行すること。(救急医療学科)</li> <li>・体育学部体育学科の入学定員超過の是正に努めること。</li> </ul>	
私立	朝日大学	保健医療学部 看護学科		80	岐阜県瑞穂市	学校法人 朝日大学	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「日本語表現法」の配当年次を1年次から4年次に変更した理由は妥当と考えられるものの、講義内容の変更が伴っていないため、4年次に履修するに相応しい講義内容へ修正し、誤解が生じないように周知すること。</li> <li>・今後の教員の採用計画について、若手助教の採用及び助手から助教への登用を計画しているが、特に定年を延長して採用する専任教員が主要な科目を担当していることから、退職後の教育研究の質の低下が懸念されるため、大学設置基準第10条第1項の趣旨を踏まえ、教育研究の維持向上を図る具体的な計画を策定し、確実に実行すること。</li> <li>・教員審査の結果、教員の補充が必要とされた「公衆衛生看護活動論Ⅰ」及び「健康管理論」については、それぞれ教育目標を達成できる教育体制とは考えられないため、以下の点を踏まえ確実に教員を補充すること。 <ul style="list-style-type: none"> <li>(1)「公衆衛生看護活動論Ⅰ」について、5名ずつ3グループに分けて実施する計画であるが、専任教員2名で支障なく実施できることに疑義があるため、補充を必要とされた専任教員1名を追加配置し、当初の計画どおり実施すること。</li> <li>(2)「健康管理論」については、授業内容からグループワークによる演習科目であり、最低1人の兼任教員を追加配置しなければ教育の質が担保されないと考えられるため、確実に配置すること。なお、教員審査で不可の判定を受けた専任教員が補助的に関わることに懸念されるような説明がされているため、誤解がないように適切に実施すること。</li> </ul> </li> <li>・教員の補充を必要とされた1授業科目については、科目開設時までには教員を充足すること。うち、専任教員の配置を必要とされた1授業科目については、確実に専任教員を配置すること。</li> <li>・完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について着実に実行すること。</li> <li>・法人本部長を参与に選任していることについて、法人本部長と参与の職務内容の大部分が重複していることから、法人本部長を参与に選任することの必要性を検証すること。</li> </ul>	
"	大阪成蹊大学	教育学部 教育学科 (3年次編入学定員)		100 10	大阪府大阪市	学校法人 大阪成蹊学園	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学術雑誌について、卒業研究に資するような雑誌の整備が不十分であり4年制の教育学部として十分とはいえないことから、より一層の充実を図ること。また、英文の学術雑誌が少ないことから、今後充実を図ること。</li> <li>・既設校の今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。(大阪成蹊大学マネジメント学部マネジメント学科、芸術学部環境デザイン学科 美術学科、大阪成蹊短期大学 創造文化学科)</li> </ul>	<p>大阪成蹊短期大学 児童教育学科 初等教育学専攻(廃止) ※平成26年4月学生募集停止 (△30)</p> <p>平成26年4月名称変更予定 大阪成蹊短期大学 児童教育学科 →幼児教育学科</p>

区分	大学名	学部名	学科等名	入学生員	位置	設置者	留意事項	備考
私立	関西福祉大学	発達教育学部 児童教育学科		80	兵庫県赤穂市	学校法人 関西金光学園	<ul style="list-style-type: none"> <li>・養成する人材像において「地域との連携や他者との連携ができる人材」を掲げており、フィールドワークを実施する計画であるが、本学科のキーワードとなっている「発達支援」や「学習支援」とどのように関連するのか不明であることから、教育上関連付けた計画を立てた上でその計画を着実に実行すること。</li> <li>・「理科」と「理科指導法」の違いについて、授業科目の概要とシラバスとが整合していない部分があることから、シラバスに沿った内容となるよう授業科目の概要を修正し、それぞれの科目の違いが明らかになるようにすること。</li> <li>・完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、策定した教員組織編成の将来構想を着実に実行すること。</li> </ul>	社会福祉学部 社会福祉学科〔定員減〕 (3年次編入学定員)〔定員減〕 (△100) (△5)
〃	神戸学院大学	現代社会学部 現代社会学科 社会防災学科		120 80	兵庫県神戸市	学校法人 神戸学院	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本学部に現代社会学科と社会防災学科の2学科を設置する理念、特色について整理し、特に以下の点について受験生等全ての関係者が理解できるよう適切に周知するとともに、教育課程の充実に努めること。</li> <li>(1) 両学科の関係について混乱する懸念があることから、どのような理念や特色のもとに、両学科が同一学部の中に置かれているかについて整理し、全ての関係者がその相違を理解できるよう適切に周知すること。</li> <li>(2) 現代社会学科では「日常あるいは平常時の地域社会諸側面における課題」、社会防災学科では「非常時への事前・事後の社会的な備えの対応に関する諸課題」を解決できる人材養成をそれぞれ掲げているが、平常時であってもリスクに備える必要があり、非常時であっても平時からの地域社会活動が意味を持つなど、平常時と非常時で単純に区分し難い側面があるため、養成する人材像を再構築し、それを反映した教育課程について不断に検証しつつ、特色ある教育課程の充実に努めること。</li> <li>・単位互換科目の読み替えについて一覧が示されているが、英語等の基礎科目も含まれているため、実施に際しては、学科設置の趣旨・目的等に照らして適切な科目とすること。また、読み替え科目間に互換性があるのか懸念があるものがあることから、適切な読み替えとなるよう読み替え科目の内容を精査した上で実施すること。</li> <li>・「地域学講義Ⅰ～Ⅷ」については、体系的に学修できる内容となっていないことから、専門性及び体系性の観点から講義内容を見直し、確実に実施すること。</li> <li>・「ボランティア・インターンシップⅠ」、「ボランティア・インターンシップⅡ」、「インターンシップ」について、選択必修科目として位置付けられているが、定員を充足できるだけの実習先が確保されているか不明であることから、学生の履修に支障のないよう実習先を確保し、確実に実行するとともに、それぞれの科目の定員、実習先及び実習先の定員についてはあらかじめ学生に周知すること。</li> <li>・語学教育の実施体制について、現代社会学科における英書講読、社会防災学科における専門外書講読担当だけでなく、語学教育の担当者も中心的な存在となって語学の授業体系をコーディネートするような体制に改めること。</li> <li>・教員の負担について、担当授業科目の削減など具体的な負担軽減策が講じられておらず、依然として教員の負担が極めて重く思われ、教員の研究時間の確保、学生指導の質の低下が懸念される。このため、各教員が研究活動、学生指導等を十分に行うことができるよう、大学設置基準第10条の趣旨を踏まえつつ、実質的な教員負担の軽減を図ること。</li> <li>また、教員の負担軽減として実習助手を採用する計画だが、実習の質が担保されるような専任教員との連携体制を構築し、着実に実施すること。</li> </ul>	

区分	大 学 名	学 部 名	学 科 等 名	入 学 員 定 員	位 置	設 置 者	留 意 事 項	備 考
	(神戸学院大学)			人		(学校法人 神戸学院)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・養成する人材像として掲げるグローバルな視野を持ち合わせた人材が養成されるよう、語学教育科目について、学生に対し教育課程の順序性を踏まえた体系的な教育課程となっていることを明確にするとともに、履修指導を適切に行うよう努めること。(現代社会学科)</li> <li>・養成する人材像として掲げる、国際的視野とその経験を備えている人材が養成されるよう、語学教育科目について、学生に対し教育課程の順序性を踏まえた体系的な教育課程となっていることを明確にするとともに、履修指導を適切に行うよう努めること。(社会防災学科)</li> <li>・「法学の基礎Ⅰ」は憲法を扱うこととなっているが、「法と社会Ⅰ」、「法と社会Ⅱ」の内容と重なるため、整合性を図る必要があり、また、「法学の基礎」と銘打つ以上、「法学の基礎Ⅰ」、「法学の基礎Ⅱ」は憲法、行政法等の公法だけでなく、社会防災に関わる私人間の法律問題への理解、対応のあり方を学ぶためにも、民法、民事訴訟法等の私法領域を含めた、法体系全体を対象とする授業内容にする必要がある。このため、「法学の基礎Ⅰ」、「法学の基礎Ⅱ」の授業内容について見直しを図ること。(社会防災学科)</li> </ul>	
私立	奈良産業大学	保健医療学部 看護学科 人間教育学部 人間教育学科		80 120	奈良県奈良市 (保健医療学部) 奈良県生駒郡三郷町 (人間教育学部)	学校法人 奈良学園	<ul style="list-style-type: none"> <li>・非常勤実習指導教員の採用基準について、「公衆衛生看護学を担当する者は保健師免許を有することが望ましい」とされているが、実習の質を確保するためには、保健師免許を有している者を採用することが必要であるため、採用基準を見直し、確実に実行すること。(保健医療学部)</li> <li>・助手または非常勤実習指導教員への指導体制について、「看護協会等が主催する臨地実習指導者の質の向上のための講習会や研修会の参加を促す」ことが計画されているため、特に非常勤実習指導教員についても、計画どおり着実に実行すること。また、大学教育に相応しい実習の質を担保するためにはF/D活動の充実が必要であると考えられるため、助手及び非常勤実習指導教員を含めた実習に関するF/Dの具体的計画を策定の上、着実に実行すること。(保健医療学部)</li> <li>・学内実習室の整備が十分であることの説明が不十分であるため、以下の点を踏まえ4年間の実習室利用について綿密なシミュレーションをした上で、教育研究に支障のない学内実習室、演習室の使用計画及び整備方針を策定し、確実に実行すること。(保健医療学部) <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 臨地実習期間中の帰校日が水曜日と設定され、帰校日には学内実習室で授業をすることが想定されるが、その時間帯に他学年の演習が実習室で行われており、臨地実習期間中の学生への学内実習室を使用した授業ができないことが懸念されるため、支障のない施設使用及び整備計画を策定し、確実に実行すること。</li> <li>(2) 精神看護学実習室は整備しない計画であるが、教育研究に支障のない環境が整備されているか再検討し、必要に応じて整備すること。</li> <li>(3) 「助産診断・技術学Ⅱ」及び「助産診断・技術学Ⅲ」については、開講時期の曜日・時限を指定せず、教室があいている時間に実施する計画であるが、実際に学生が受講できるか不明なため、時間割に配置するとともに、教室の使用についても割り当てた上で、確実に実行すること。</li> </ul> </li> <li>・教員の補充を必要とされた2授業科目については、科目開設時まで教員を充足すること。うち、専任教員の配置を必要とされた1授業科目については、確実に専任教員を配置すること。(保健医療学部)</li> <li>・完成年度における法人全体の帰属収支差額がマイナスとなっていることから、収支の均衡を前提とした中長期的な財政計画の策定・実行など、経営基盤の安定確保に取り組むこと。</li> </ul>	ビジネス学部(廃止) ビジネス学科 (△200) 情報学部(廃止) 情報学科 (△200) ※平成26年4月学生募集停止  平成26年4月名称変更予定 奈良産業大学 →奈良学園大学 奈良文化女子短期大学 →奈良学園大学奈良文化女子短期大学部

区分	大 学 名	学 部 名	学 科 等 名	入 学 員 定 数	位 置	設 置 者	留 意 事 項	備 考
私立	比治山大学	健康栄養学部 管理栄養学科 (3年次編入学定員)		70 5	広島県広島市	学校法人 比治山学園	<ul style="list-style-type: none"> <li>・栄養士の養成を行う短期大学部総合生活デザイン学科を存続させ、同一分野の学部学科が4年制大学と短期大学とで併存する計画である。従って、学生募集に当たっては受験者に対して新設する4年制大学の学部学科と短期大学の学科の目的や役割の違い等を明確にした広報活動を積極的に行うなどして、新設する4年制大学の学科の学生確保に努めること。</li> <li>・人材養成の特色として「男女共同参画社会の実現を目指し男子の管理栄養士の養成に努める」ことを挙げているが、現状の本学が考えている理解のまま人材養成の特色として広報等を行うと、学生や社会に対して男女共同参画社会の実現について誤解を与えるおそれがあることから、「男女共同参画社会の実現」の内容等に関する大学側の理解を十分に深め、大学側の考え方を再検討するなど対外的に誤解を与えないよう配慮すること。</li> <li>・「栄養ケア・マネジメント」の講義等の内容において「食事摂取基準に基づいて栄養アセスメントを行い」とあり、また「スポーツ栄養学」の講義等の内容においては「食事摂取基準を活用してスポーツ栄養マネジメント（運動時に必要なエネルギー量、たんぱく質、脂質、ビタミン、無機質）ができるよう」とあるが、これらは食事摂取基準のみで考えるのではなく、用語の使い方が不適切と思われるので、修正すること。また、「栄養ケア・マネジメント」の講義等の内容において、「ライフステージ栄養学で学んだ食事摂取基準策定の考え方や科学的根拠の基礎知識を踏まえ」とあるが、両科目の配当時期が同じであり整合性がとれていないことから、講義等の内容を修正するか、配当時期を修正すること。</li> <li>・一部の専任教員の担当授業科目数が多く、大学側が想定している以上の負担になると思われる。また、担当授業科目数が特に多い教員に対して適用する負担軽減策をもってしてもなお教員の負担は重いものと思われることから、教員の担当授業科目数や負担軽減策について、再度検討すること。</li> <li>・教員の補充を必要とされた2授業科目については、科目開設時までには教員を充足すること。うち、専任教員の配置を必要とされた2授業科目については、確実に専任教員を配置すること。</li> <li>・完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。</li> <li>・既設校の今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。（比治山大学短期大学部 総合生活デザイン学科）</li> </ul>	比治山大学短期大学部 総合生活デザイン学科〔定員減〕 (△70)
"	広島国際大学	医療栄養学部 医療栄養学科		60	広島県呉市	学校法人 常翔学園	<ul style="list-style-type: none"> <li>・完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想を策定し、着実に実行すること。</li> <li>・既設校の今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。（広島国際大学 総合リハビリテーション学部リハビリテーション支援学科）</li> </ul>	

区分	大 学 名	学 部 名	学 科 等 名	入 学 定 員	位 置	設 置 者	留 意 事 項	備 考	
私立	宮崎国際大学	教育学部 児童教育学科		50	宮崎県宮崎市	学校法人 宮崎学園	<p>・養成する人材像として「英会話力・音楽の一定の能力がある人材」を掲げているが、本学部本学科の特色として掲げるのはなじまないことから、他に掲げている「幅広い視野・多様な思考力・高い倫理観を有する教養豊かな人材」に包含するなど本学科の教育課程を適切に表した人材像となるよう大学の考え方を整理し、学生に示すこと。</p> <p>・完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、策定した教員組織編成の将来構想を着実に実行すること。ただし、現在策定している教員組織編成の将来構想については、高齢の教授及び准教授が同時期に退職する計画となっていることから、教員組織の継続性の観点から段階的に入れ替わる計画に改めた上で実行すること。</p> <p>・教員の補充を必要とされた4授業科目については、開設時点でに教員を充足すること。うち、専任教員の配置を必要とされた4授業科目については、確実に専任教員を配置すること。</p> <p>・既設校の今後の定員充足の在り方について検討し、定員未充足の改善に取り組むこと。（宮崎国際大学 国際教養学部 比較文化学科 宮崎学園短期大学 人間文化学科）</p>	宮崎学園短期大学 初等教育科（廃止） ※平成26年4月学生募集停止	
計	13校	(3年次編入学定員) 15学部 17学科		18 1,450	認可申請に伴う、既設学部等の入学定員の変更状況				(3年次編入学定員) △ 5 大 学 △ 500 短 期 大 学 △ 280

(注) 「備考」欄の( )書きの数字は、今回の認可申請に伴う、既設学部等の入学定員の変更状況を示す。

2 短期大学の学科を設置するもの 1校

区分	大学名	学科名	入学 定員 人	位置	設置者	留意事項	備考
私立	弘前医療福祉大学短期大学部	救急救命学科 (3年制)	35	青森県弘前市	学校法人 弘前城東学園	<ul style="list-style-type: none"> <li>・短期大学で救急救命士を養成する設置の趣旨・目的等が活かされるよう短期大学にふさわしい教育研究活動を行うことはもとより、その水準を一層向上させるよう努めること。</li> <li>・完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想を策定し、着実に実行すること。</li> <li>・理事会及び評議員会の運営に関し、以下の事項について適切に行うこと。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・決算に係る理事会と評議員会の開催順序</li> </ul> </li> </ul>	
計	1校	1学科	35				

3 学部の学科を設置するもの 4校

区分	大 学 名	学 部 名	学 科 等 名	入 学 員 定 数	位 置	設 置 者	留 意 事 項	備 考
私立	北海道工業大学	医療工学部 看護学科 理学療法学科 診療放射線学科		80 40 50	北海道札幌市	学校法人 北海道尚志学園	<p>・新設学部のコンセプトとミッションについて、設置の趣旨・目的を記載した書類に十分に反映されていないことから整合的に記述すること。なお、以降、設置の趣旨・目的を説明する際には、学部と学科のコンセプトとミッションが明らかになるように説明すること。</p> <p>・学部のミッションとして「チーム医療の一員として、地域の保健や医療の向上の一翼を担うことができる医療技術者を育成する」とあり、本学科の養成する人材像においても「他の医療関係職種と連携・協働し、チーム医療の中での看護師としての役割を果たしていく」とある。しかし、実際の教育課程への反映については、「チーム医療論」1科目と、他学科の学生との共同グループワークという教育課程外の取り組みであり、本学科の教育課程にはこの趣旨が必ずしも十分には反映されていないと思われることから、グループワークの具体的な計画を示し、到達目標を達成するため着実に計画を実行すること。また、到達目標を確実に達成するためには教育課程内で行うことが望ましいため、教育課程内における取り組みを検討すること。（看護学科）</p> <p>・老年Ⅰ・Ⅱの実習を同じ施設で行うため、学年進行により老年ⅡをⅠより先に実施するように見受けられるが、より高度な実習目標であるⅡの後に、基礎的な実習目標のⅠを行うことについて、実習目標に合わせた実習を現場が混乱せずに行うことが出来るよう対策を示し、実習施設との連携を十分に行うこと。また、統合実習が夏期休暇期間中であることについて、学年進行に伴う他の実習との関連から教員の負担が懸念されるため、教員の負担に十分配慮した計画とすること。（看護学科）</p> <p>・遠隔地の虎ノ門病院における母性看護学実習の実習指導体制について、実習初日に学生を引率することと問題があった場合の対応以外に専任教員の関与が見えないため、インストラクター単独ではなく、専任教員が責任をもって指導する体制とすること。また、インストラクターについて、遠隔地の実習を担当するには臨床経験3年以上という要件だけでは不十分だと思われるため、当該領域での臨床経験や助産師の資格などの要件を追加し、さらにインストラクターを雇用した後の研修を行うなど、実習の質を担保すること。（看護学科）</p> <p>・教員の補充を必要とされた3授業科目については、科目開設時までに教員を充足すること。うち、専任教員の配置を必要とされた3授業科目については、確実に専任教員を配置すること。（看護学科）</p> <p>・学部のミッションとして「チーム医療の一員として、地域の保健や医療の向上の一翼を担うことができる医療技術者を育成」するとあるが、本学科の教育課程の主な反映については、「チーム医療論」1科目であり、十分に反映されていないと思われることから、さらにチーム医療に関する授業科目等において他学科との連携教育を設けるなど、学部のミッションが学科の教育課程に反映されるよう教育課程を修正すること。（理学療法学科）</p>	平成26年4月名称変更予定 北海道工業大学→北海道科学大学 医療工学部→保健医療学部 医療福祉工学科→臨床工学科 北海道自動車短期大学 →北海道科学大学短期大学部

区分	大学名	学部名	学科等名	学 入 定 員	位置	設置者	留意事項	備考
	(北海道工業大学)			人		(学校法人 北海道尚志学園)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学部の人材養成の目的では、「次代の医療工学を創造・実践できる人材を養成する」とあるが、本学科の 人材養成の目的は一般的な理学療法士の養成にとど まっていることから、学部と学科の人材養成目的の整 合性をとり、教育課程にも反映させるよう修正するこ と。(理学療法学科)</li> <li>・講義と演習を組み合わせた科目設定の意図は理解で きるが、計画されたシラバスの内容では講義部分の割 合が少ないため、学生が知識を体系的に修得できるか 懸念がある。そのため、学生の知識の定着状況を検証 し、必要に応じて基礎となる講義内容の配分を演習科 目内で増加するか講義科目の充実を行うなど、適切な 改善を図ることにより、学修の質が確保されるよう努 めること。(理学療法学科)</li> <li>・教員の補充を必要とされた2授業科目については、 科目開設時までに教員を充足すること。(理学療法学 科)</li> <li>・既設校の今後の定員充足の在り方について検討し、 定員未充足の改善に取り組むこと。(北海道工業大学 空間創造学部都市環境学科、未来デザイン学部人間社 会学科)</li> </ul>	
私立	江戸川大学	メディアコミュニケーション学部 こどもコミュニケーション学科	60		千葉県流山市	学校法人 江戸川学園	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼稚園教諭、保育士養成のための学科であることか ら、授業科目「生活」について、小学校教員養成の観 点からではなく、幼稚園教諭養成の観点からの授業内 容に修正すること。</li> <li>・学科名称からは、学士(教育学)を授与する課程で あるとはわかりにくいものとなっていることから、受 験生に誤解を与えないよう適切に周知すること。</li> <li>・幼稚園教諭養成に係る教育実習について、実習時 期、実習施設ごとの学生の配置人数等の詳細かつ実現 可能性のある実習計画を作成し、着実に実行するこ と。</li> <li>・教員の補充を必要とされた5授業科目については、 開設時までに教員を充足すること。うち、専任教員の 配置を必要とされた5授業科目については、確実に専 任教員を配置すること。</li> <li>・既設校の今後の定員充足の在り方について検討し、 定員未充足の改善に取り組むこと。(江戸川大学 社 会学部現代社会学科)</li> </ul>	メディアコミュニケーション学部 マス・コミュニケーション学科 〔定員減〕 (△30) 情報文化学科〔定員減〕 (△20) 社会学部 現代社会学科〔定員減〕 (△20)
"	和洋女子大学	人文学群 こども発達学類 (3年次編入学定員)	70 5		千葉県市川市	学校法人 和洋学園	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教員の補充を必要とされた1授業科目については、 科目開設時までに教員を充足すること。うち、専任教 員の配置を必要とされた1授業科目については、确实 に専任教員を配置すること。</li> <li>・完成年度における法人全体の帰属収支差額がマイナ スとなっていることから、収支の均衡を前提とした中 長期的な財政計画の策定・実行など、経営基盤の安定 確保に取り組むこと。</li> </ul>	人文学群 心理・社会学類(廃止) (△130) (3年次編入学定員) (△6) ※平成26年4月学生募集停止 〔3年次編入学定員については、 平成28年4月から学生募集停止〕 平成26年4月名称変更予定 人文学群 日本文学・文化学類 →日本文学文化学類 家政学群 生活環境学類→家政福祉学類

区分	大学名	学部名 学科等名	入学 定員	位置	設置者	留意事項	備考
私立	西九州大学	子ども学部 心理カウンセリング学科	40	佐賀県佐賀市 佐賀県神埼市	学校法人 永原学園	・完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。	
計	4校	(3年次編入学定員) 4学部 6学科	5 340	認可申請に伴う、既設学部等の入学定員の変更状況 (3年次編入学定員) Δ 6 大 学 Δ 200			

(注) 「備考」欄の( )書きの数字は、今回の認可申請に伴う、既設学部等の入学定員の変更状況を示す。

4 短期大学の通信教育を開設するもの 1校

区分	大 学 名	学 科 名	入 学 員 定 数	位 置	設 置 者	留 意 事 項	備 考
私立	小田原女子短期大学	保育学科 (通信教育課程)	170	神奈川県小田原市	学校法人 小田原女子短期大学	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小田原キャンパス以外（以下、遠隔地とする）でのスクーリング、科目修得試験について、希望者が少数であっても、学生に不利益が生じないよう、遠隔地での実施を着実に履行すること。</li> <li>・教員の補充を必要とされた3授業科目については、科目開設時までには教員を充足すること。うち、専任教員の配置を必要とされた3授業科目については、確実に専任教員を配置すること。</li> </ul>	
計	1 校	1 学科	170				